

関係各位

京都府病虫害防除所長
(公 印 省 略)

病虫害発生予察情報について

下記のとおり発表しましたので、送付します。

◇

発生予察注意報第2号

作物名：果樹全般（特にカキ、ナシ、モモ、カンキツ類）

病虫害名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシなど）

- 1 発生地域 : 全域
- 2 発生時期 : 収穫期まで
- 3 発生量 : やや多い
- 4 注意報発表の根拠
 - (1) **フェロモントラップ**におけるチャバネアオカメムシの6月第6半旬～7月第5半旬の誘殺数は、京田辺市で平年並(39.9頭)であるが、亀岡市168.3頭(平年81.4頭)、京丹後市弥栄町81.3頭(平年24.7頭)で、**平年比やや多い発生であった**(第1表)。
 - (2) **予察灯(20Wブラックライト)**におけるチャバネアオカメムシの6月第6半旬～7月第5半旬の誘殺数は、京丹後市で平年並(51.0頭)であるが、京田辺市288.0頭(例年50.0頭)、亀岡市22.0頭(平年10.0頭)で、**平年(例年)比やや多い～多い発生であった**(第2表)。
- 5 防除上の注意事項
 - (1) 収穫期が近い果実に被害が多くなるので注意する。また、ブドウ・ナシ等の袋掛け栽培でも被害発生の恐れがあるので注意する。
 - (2) カメムシは夜行性であり、夕方の防除が有効である。
 - (3) 被害は、園による差が大きく、また、園の周囲で多くなるなど多様である。園内外の成虫の発生状況などを常に観察し、飛来を認めたら防除する。**特に、山林等の隣接園では注意する。**
 - (4) 合成ピレスロイド剤の連用は、ハダニ類やカイガラムシ類が多発する恐れがあるので避ける。
 - (5) 収穫が近いものも多いため、農薬の使用に当たっては使用基準を厳守する。
 - (6) 防除薬剤を使用する際は使用基準を厳守すること。なお、最新の農薬情報は農林水産省ホームページの「農薬コーナー(<http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/index.html>)の「農薬登録情報検索システム」を参照のこと。

第1表 フェロモントラップ誘殺数(チャハネアオカメムシ)

設置場所	京田辺	亀岡	弥栄
H22	39.9	168.3	81.3
平年値	34.4	81.4	24.7
H21	0.0	1.0	3.0
H20	6.0	39.0	12.2
H19	0.0	0.0	0.0
H18	34.2	33.0	24.0
H17	0.0	0.0	0.3
H16	161.8	200.3	130.4
H15	2.0	0.0	1.0
H14	85.8	464.0	7.0
H13	3.0	1.0	3.0
H12	50.8	76.0	66.0

表中の数値は6月第6半旬～7月第5半旬の合計値

第2表 予察灯(20Wフックライト)誘殺数(チャハネアオカメムシ)

設置場所	京田辺	亀岡	弥栄
H22	288.0	22.0	51.0
平年値	50.2(例年値)	10.0	91.9
H21	0.0	0.0	1.0
H20	10.0	2.0	132.0
H19	2.0	1.0	1.0
H18	85.0	9.0	259.0
H17	0.0	0.0	1.0
H16	278.0	26.0	294.0
H15	0.0	0.0	2.0
H14	12.0	55.0	166.0
H13	—	0.0	8.0
H12	—	7.0	55.0

表中の数値は6月第6半旬～7月第5半旬の合計値